

CHIHOMEN NEWS

地方創生セミナー in 京丹後

中小企業経営者のための

国の支援施策の活用セミナー



「地域のために何かできることはないやろか？」

を合言葉に活動を続けるTeamちほめん(※)。

今回は、京丹後市で開催した「地方創生セミナー」というイベントの活動報告です！

- 平成29年12月19日、京都府京丹後市で地方創生セミナーを開催しました。
- セミナーのテーマは「中小企業経営者向けの国の支援施策をご紹介します」というものです。
- また、セミナーと併せて「地方創生に向けた意見交換会」を開催しました。京丹後市長や地域経済団体、金融機関の方にご参加いただき、貴重な意見をいただきました。
- 今回のニュースでは、地方創生セミナーの企画に至る経緯から、当日の様態などを、簡単にご紹介します。

※Teamちほめんとは、近畿財務局の若手有志職員が、地域の課題解決のため何かお手伝いできないか、様々な企画を提案し、スタッフとして実行していくおせっかいな(?)団体です。

1. 開催までの道のり

(1) 京丹後市ってどんなところ？

- 今回の舞台となった「京丹後市」ですが、京都にお住まいの方以外にはあまり馴染みがないかもしれませんので、簡単にご紹介します。
- 京丹後市は、京都府のいちばん北に位置しており、平成16年（2004年）に6つの町が合併してできた市です。



- 間人（たいざ）カニなど、素敵な海産物でも有名ですが、高級織物の丹後ちりめんなどに代表されるように、古くから緻密で、高度なものづくりに強みを持つ地域です。

- 実は製造業の事業所数が京都府下で1番多く（京都市除く）織物業や機械金属業など、中小企業が多いという特徴も有しています。

(2) 地元企業からのオファー

- そんな折、京丹後市の納税協会に、講演会でお邪魔した際に「地域のため、何かできることはないですか！？」とお聞きしこれまでに当局が実施した活動をご紹介しました。
- すると、同協会の錦織会長は「中小企業支援施策の説明会」に強い関心を持たれ、

中小企業を助ける最新の施策が、経営者に知られていない。
ぜひ、国の担当から経営者に直接説明会をしてもらえないか？

とのオファーをいただきました。

(3) 当局のネットワークをフル活用！

- 当初はあまり事例もなかったため、暗中模索だったのですがこれまで様々な機会でお世話になっている**近畿経済産業局**と**京都労働局**に思い切ってお相談したところ、快く承諾頂き、実際に支援施策を扱う担当の方から「**直接**」説明をしていただくことができました。
- また、京丹後市、京丹後市商工会のみなさまにも会場の手配など、多くのご尽力を賜りました。
- こうして、**当局、京丹後市、京丹後市商工会、峰山納税協会近畿経済産業局、京都労働局**が**共催**する形でセミナーを開催することができました。

2. 当日の様相

(1) 地方創生セミナー ～中小企業経営者向けの国の支援施策～

- セミナーには100名超の参加があり、大盛況でした。
- 参加された方からは、「**直接話が聞けて、実際に申請してみようという気になった**」「**分からないことを相談する窓口を知れてよかった。**」など、好評をいただきました。



- 当日は京丹後市の三崎市長からご挨拶いただきました。
- セミナーの講演内容について簡単にご紹介します。



① 近畿経済産業局による説明

- 近畿経済産業局の麻野課長補佐からは、中小企業を支援する補助金の内容や、中小企業経営強化支援措置の柱となっている「**経営力向上計画**」を中心にお話しいただきました。
 - 「**経営力向上計画**」とは人材育成や生産力向上など、自社の経営力をアップさせるための計画のことで、これを作成し、国の認定を受けると**税制上の優遇**や**金融機関による各種支援**、また**補助金等の優先**を受けられるようになります。
 - セミナーでは「**経営力向上計画**」作成の仕方について具体的なアドバイスが話され、参加された方は熱心にメモを取っていました。
- 詳細について詳しく知りたい方は[こちら](#)



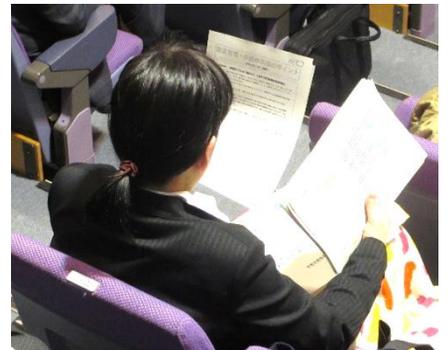
② 京都労働局による説明



- 京都労働局の金井室長からは、今話題になっている「**働き方改革**」をめぐる諸制度について、お話しいただきました。
- 人手不足への対応として「**働き方改革**」がとても重要であること行政はこれを後押しするために、様々な取組みを行っていること等が説明されました。

- 「**働き方改革**」を後押しする様々な助成金について、丁寧に説明いただきました。併せて、相談窓口や情報提供についてもお話しいただきました。

→詳細について詳しく知りたい方は[こちら](#)



(2) 地方創生に関する意見交換会

- この意見交換会は、**地域活性化のキーパーソン**にお集まりいただき、忌憚のない意見を交わすとともに、**先進事例の紹介**や国への意見・要望を伺うことなどを通じて、少しでも**地方創生の進展に寄与**できれば、という思いで開催しました。



① 意見交換会に参加いただいた方々(順不同)

機関名	出席者名	機関名	出席者名
京丹後市	三崎市長 ほか	京都銀行	仲 専務取締役 ほか
京丹後市商工会	沖田会長 ほか	京都北都信用金庫	森屋理事長 ほか
峰山納税協会	錦織会長 ほか	近畿財務局	岸山総務部長 ほか
海の京都DMO	今井総合企画局長	近畿財務局京都財務事務所	樽川所長 ほか
丹後織物協同組合	松本理事長	近畿経済産業局	麻野課長補佐
丹後機械工業協同組合	中村専務理事 ほか	京都労働局	金井室長
日本政策金融公庫	高橋舞鶴支店長		

司会 近畿財務局 舞鶴出張所 深瀬所長

② 意見交換の内容

- 意見交換会では、京丹後市の地方創生の進展と課題
地方創生のための取り組みの紹介などについて、意見が交わされました。
- その中から、いくつかご意見の内容を紹介します。

－人材の確保が最も重要－

- 地方創生の進展に向けて、最も重要なのは**人材の確保**だと思っている。
- つい先日も人手不足のため、400人もの観光客の宿泊受け入れができず、泣く泣くお断りするといった話を耳にしたところ。
- 市内の高校生へのアンケートでは「**大学進学後、地元に戻りたい**」という声があった一方で、「**地元どんな企業があるか知らない**」という声も聞かれた。
- 今後、市として地域の魅力、関心を高めていきたいと思っている。



－改めて問う商工会の役割－



- 京丹後市商工会は、地域の総合経済団体として、地域活性化に貢献していく責務があると考えている。
- 地域活性化に向け、地域の「**稼ぐ力**」を高めるべく様々な活動に取り組んでいる。
- その一環として、織物産業の**世界展開への支援**（専門家派遣）機械金属産業における「**オンリーワン企業**」の**育成支援**（技術展示会出展、新製品開発支援等）などを行っている。
- また、当商工会では観光客に織物の製作等を体験していただく「**ほんもの体験事業**」という取り組みを実施しており、好評を得ている。

－将来の丹後を見据えた取組みを－



- 景況は少しずつよくなってきていると感じるが、利益幅はまだまだ少ないのが現状。
- 人手不足の問題も深刻で**少ない労働者を各業界で引っ張り合っているように感じる。**
- このような状況を受け、当組合は、地元高校と連携してインターンシップの受け入れを行う取組みを始めた。
- また、長い目で見た取組みとして、小学3年生から中学生を対象に、モノづくりの面白さを伝える**出前講座**を行っている。まだ始めたばかりだが、好評を得ている。
- 今後は他の産業も巻き込んで取り組んでいきたい。

京都北都信用金庫 森屋理事長

－民間が「儲ける」仕組みづくりが必要－

- 地方創生に向けては、**民間が儲けることのできる仕組みを作っていくことが大事**だと考える。
- 北都信金では、海の京都DMOの協力の下、観光モデルルートを作成し、信金のネットワークを通じ、全国の信金職員の方へ**実際に観光に来て、体験してもらう**取組を実施した。
- 昨年度は全国から**2,500人**を招き、**8,500万円**の経済効果があった。今年度は**3,000人**で**1億円**を目指している。
- 北都信金は、10年の計画を作り、ビジネスマッチングなど様々な方法を駆使し、「**取引先の売上げが伸びることなら何でもする**」という意識で地域創生に取り組んでいる。



－モノづくり人材の充実が急務－



- 世の中をよくするためには、第一にモノづくりが欠かせないと思っている。これからの若者には、女性も含め、**「世の中になくて必要なものを作る人」**が増えてほしいと思っている。
- 若者が進学などで地元を出ることを心配する声もあるが、私は若いころに見聞を広め、勉強することは、とても大事だと思っている。
- そうした若者が安心して戻ってくるためには、交通アクセスをもっと良くするなど、環境整備が重要。

- 上記でご紹介した方以外にも多くの方からご発言を頂戴しました。この場をお借りして、御礼申し上げます。

3. 最後に

- みなさまのご協力をおもちまして、今回のセミナーも無事に終了することができました。
- 当局はこれまで金融機関向けや自治体向けの説明会を開催していましたが中小企業の経営者の方に**「直接」**お話しをする機会を設けるのはあまり例がありませんでした。
- 今回のセミナーでは、国の担当者から直接説明することができた、より一層**「役に立つ」**取り組みができたのでは、と感じています。



講演後、講師（左）と話す参加者

- また、意見交換会では、京丹後市が、豊富な観光資源などたくさんの強みを持っていることを改めて認識するとともに地域のみなさまが一体となって、活性化に向け取り組んでいることをお聞きし、感銘を受けました。



意見交換会で発言に耳を傾ける当局職員

- もちろん、解決すべき課題は多くありますが、それは見方を変えれば多くのチャンスがあることと、表裏一体の関係だと感じています。
- 本日のセミナーでご紹介いただいた施策の活用や、意見交換会で交わされた議論などが、巡り巡って、今後の地域経済の活性化に少しでも繋がれば、とても嬉しく思います。

- 今後も、地域経済の発展のため、各機関や各地域の要望に応じて、様々な活動に取り組みたいと思っています。

どうぞご期待ください・・・！

本企画でお世話になった方々、本当にありがとうございました。

- ・ 京丹後市
- ・ 京丹後市商工会
- ・ 峰山納税協会
- ・ 地方創生セミナーにご参加いただいたみなさま
- ・ 意見交換会にご参加いただいたみなさま

チーム 舞鶴ちほめん一同

